

やすらぎ

平成21年12月1日
〔第128号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

モラロジー生涯学習講演会

11月20日(金)午後7時から、御所事務所にてモラロジー生涯学習講演会が開催されました。9月に開催された第13回モラロジー生涯学習セミナーの継続学習として、セミナーに参加された方や初参加者を含めて54名の参加で行われました。京都から今西邦雄社



会教育講師にお越し頂き、吉田代表世話人の開会挨拶の後、前半と後半に分けて講演会をして頂きました。

前半の講義では、「人生をどう生きて行くか、考えたことがありますか？」という講師の問いかけから始まりました。次に「よりよい人生を過ごす為には、心を高めようとしなない限り、人間は成長しないし、人生も変わらない」とはっきり言われたのがとても印象的でした。心を高める方法は、「祈る心と感謝の心」を意識的に使うことがポイントになることを教わりました。しかし私達は、日頃3つの心にとらわれており、1つは、虚栄心(ないモノを

あるように見せようとする心)、2つ目は、嫉妬心(人をねたみ相手より優位に立とうとする心)、最後が、自己憐憫(自分が一番かわいそうで一番苦労していると思う心)であると教えて頂きました。

後半では、このとらわれの心から逃れる方法を中心に講義が展開されました。とらわれの心から逃れる方法は、自分の心の状態を意識的に注意を払い、この3つの心を使ったときは、すぐに反省するクセをつけるようにすることで、「いい心のクセが、自分の品性となり積み重ねることによって、いい人生へと変わって来ます」と教えて頂きました。「人間は誰しも心に善い種をもっていますが、善い芽を出す最も効率のいい方法を知らない」その方法は、「ありがとう」という感謝のキモチと、「私は幸せです」というキモチを常に持つことから始まります。「明日から、いい心を使うクセをつけて行きましょう」という言葉で締め括られました。

最後に岡川実行委員長の閉会挨拶で終了しました。

今西講師が最後に言っておられた「自分自身でしか、自分の人生は変えられませんが」という言葉が私の心の中に響き渡っています。

細川成樹

四国歩き遍路の旅

11月14日(土)朝4時、降りしきる大雨の中を事務所に7人の男女が集合しました。暗闇の中、1台のワンボックスカーに荷物を積み込み出発。

2006年5月、念願であった、四国お遍路の1450キロに及ぶ遥かなる旅の第一歩を、徳島県の1番札所霊山寺に記してから、高知県、愛媛県と58ヶ寺を歩き遍路してきました。1泊2日を春と秋2回繰り返し、1度に10ヶ寺ほどをお参りしますが、遍路コログシの難所あり、1日1ヶ寺がやっとのときもありました。

今までは淡路島経由で四国に入っていたが、今回は初めて西瀬戸自動車道(しまなみ海道)を通ることに。8時過ぎ雨も止み、上空は曇天ながら行く手前方には青空ものぞくほどに天気も回復し、歓声を上げながら、順調にしまなみの橋々を渡る。

今治市に入るや、すぐに54番延命寺に9時半到着。早速お参りを済ませ車を駐車場にそのまま置かせていただき、歩き遍路の始まり



です。今治市街を歩くこと1時間、55番南光坊(なんこうぼう)に到着。四国霊場で唯一「坊」と名のつく霊場です。

JR今治駅近くで昼食を取る。途中野球の強い今治西高校の前で記念写真を撮り56番泰山寺へ。そこから田園風景の中を歩くこと1時間、57番栄福寺に到着。ここから大きなため池を眺めながら山道を歩き、途中渋柿を拾いながら58番仙遊寺に到着。ここは標高約

300mの山頂にあり今治市街や瀬戸内海の眺めもすばらしく、仙人だけでなく凡人の私もゆっくり遊んでいたい気分になる。

今治市は人口17万人、愛媛県第2の都市で、瀬戸内海に面した豊かな城下町。タオルの生産が盛んです。



今治城は慶長9年(1604)9月、藤堂高虎によって築城されました。高虎は伊予半国20万3000石の大守。城域は8町16間四方、三重の堀には海水を導入した海岸平城でした。伊予越智氏は越智郷(現在の今治市国分付近)が出自とされ、今も越智姓がたくさんあり、遍路で歩くと、越智電気や越智製作所などの看板が目につく。

ここで本日のお参りは終了。2漫歩仙人も、1漫歩仙人も十分ノルマ達成と気分良く2台のタクシーに分乗。3人が朝駐車した車を取りに54番まで移動。もう1台は今治駅近くの宿に直行。7人揃ったところで、タクシーの運転手が「道後温泉なんて比じゃない」と言う、お湯の良い鈍川(にぶかわ)温泉に、今日一日の疲れを取りに。

夕食はホテルで紹介して貰った「鳥と魚料理」のお店に行くことにしました。Kさんご夫婦は鳥がダメで、魚料理を期待して行きましたが、「残念」!!。全部鳥料理でした。お陰様でお二人の分まで頂きました。「ごちそうさまでした」。

15日朝、少し早く目覚めた私は、本日のお参りの為にシャワーで体を清めました。その頃既に2漫歩仙人は6千歩歩いてました。朝食をすますとすぐに車に乗り込み国分寺を目指す。車中から、堀をめぐらした優美な今治城を眺め、「今朝この辺まで歩いててん」と云う話を聞く。8時半に59番国分寺にお参り。

今日は車で移動で、山の上にある 65 番三角寺にお参りする。広い境内には季節外れの桜の花が咲いていました。

香川県に入り、1つの境内に2つの札所がある 68 番神恵院(じんねいん)と 69 番観音寺をお参りする。今日はここまでとし、金比羅さんをお参りにすることにしました。



こんぴらさんは金刀比羅宮(琴平)といい、開山は、およそ七百年程前、善通寺(第七十五番札所)の当時の住職宿範上人で、自身の隠居所として建立したと伝えられている。開創当時金毘羅大権現を祀ったのが始まりである。現在の本尊は大物主神(おおものぬしのみこと)と崇徳天皇(すうとくてんのう)で海上交通の守り神として知られている。本宮までの石段は全785段。途中、様々な見所が沢山あり、森の石松の代参が有名です。頂上の奥社までは1368段の石段があり、1時間以上の登山となります。讃岐平野から瀬戸内海までが一望できます。

お昼ご飯もそこでと云うことで、足湯も出来、手打ちうどんの体験も出来るという「ゆうび庵」で本場の讃岐うどんをいただき、1400段近くの石段を登ってお参りをしてきました。「お遍路衣装での金比羅さん参り」は私達だけでしたが、すがすがしい気分でお参りをすることが出来ました。

残すところ21ヶ寺。3回から4回で結願(けちがん)の予定です。今回も事故無く楽しくお参り出来たのも皆様のお陰と感謝します。有難うございました。

歩き遍路は、前回お参りした次の寺まで車で行き、

そこから歩くというものです。費用を出来るだけ安く上げるために、使用する車は8人乗りのハイブリッドカー、土日を使いますので、ETCの超割引料金の恩恵を受けています。従ってガソリン代は1万円まで、高速料金も8000円と、人数で割り勘するとリーズナブルとなります。

上田 (とく)

遍路と柿

お遍路さんに柿は付き物の様な気がする。いたる所で生っているのに出会い、「お接待」を期待する。誰かの策にはまり、ガブリとやった時の口いっぱいのは。

Mさんは必ずと言ってよいほど、遍路のみやげに干し柿用の柿を買い込む。皮をむき、紐で結わえて20日ほど吊るしておく、甘い柿に変身する。

この柿の名前を聞き漏らしたが、大枚500円を出して買い、帰宅して早速、皮をむき、吊るした。月末には食べられるだろうか。 とく



初めてのお遍路さん

遍路装束の 6 人と、さんや袋をななめ掛けしただけのハイキング姿の 1 人が、道中は賑やかに、札所の寺院では神妙に経を唱えてきました。

1 日目は文字通りの歩き遍路。54 番から 58 番までのお寺を目指して、今治の市街、里山を歩きました。天気もよく、瀬戸内の海、点在する大小の島々を眺めながらの歩きは格別です。

夜は鈍川（にぶかわ）温泉で汗と疲れを流し、夕食には今治名物の鳥料理のフルコース。あまりの美味しさに涙が出ました。

2 日目は歩きというより車遍路。午前中で遍路を終え、こんぴらさんにお参り。全員が 1368 段を上がって奥社まで行ってきました。

ところでかつては「こんぴら参り」と記した袋を首にかけた犬が飼い主の代参をすることもあったとか。袋には飼



い主を記した木札、初穂料、道中の食費などが入っており、犬は旅人から旅人へと連れられ、街道筋の人々に世話をされ、金毘羅大権現へたどり着いたという。この「こんぴら参り」の代参をした犬は「こんぴら狛（いぬ）」と呼ばれたとか。本宮前の神札授与所で、うこん色の守り袋に陶製の小さな「こんぴら狛」が吊り下げられたお守りを 3 人の孫のみやげに買ってきました。

歩き遍路初参加の私でしたが、無心で般若心経を唱えた後の清々しい気分を十分に味わうことができました。

米田一栄

生かして歩く（5） 平城宮跡の草原

妻と一緒に掛けていった番条町の「おへんろ道」、若草山を望んだ原始の佐保川、第 2 次大極殿から遠望するふる里葛城の峯々。遠くから 4 月 24 日が音もなく迫る。

奈良県が、国が国立公園と定めた、そしてユネスコが「古都奈良の文化財」として平成 10 年に登録された 8 つの資産で構成される 1 つの「平城宮跡」で、平城遷都 1300 年記念祭が催される。

命をかけて知ろうと国際交流に貢献したあの遣唐使の気概と悲哀が、630 年の犬上御田歙らが任じられて始まり、701 年の藤原不比等のブレン、粟田真人らがあわただしく渡唐してから、やがて本格的な首都「平城京」が誕生する。この平城（なら）の都は、大宝律令などによって完成した日本の古代国家として適った。そしてこの地で全盛期を迎え「咲く花の匂うがごとく」と万葉集で詠われた時代が始まった。平城京は、元明天皇の和銅 3 年（710）に始まり、7 代 74 年の短い年月で終る。以後、都は田と畑と草原に帰る。

明治 28 年、正岡子規が古都奈良を訪れて、「右京左京 中は畑なり 秋の風」「一条も九条も見えず 稲筵（むしろ）」と詠った。しかしすでにこの時、古都奈良を象徴する平城宮跡も注目されていた。幕末の北浦定政、明治後年の関野貞が、学問的位置づけを、それに触発されて、平城宮跡の保存顕彰の運動が棚田嘉十郎を主軸に溝辺文四郎たちで奔走されていた。大正 11 年、平城宮跡は国の史跡になり、戦後を向える。昭和 27 年奈良文化財研究所が設立され、以後発掘がすすめられていく。

記念となる 2010 年がやって来た。日本の国



が、本格的な国家誕生から歴史文化が連綿と続いたことを祝い感謝するとともに、日本のはじまり奈良を素材に過去現在未来の日本を考える国民的事業を展開するに当り、この会

場で国内外の人々とともに祝祭する様々な記念イベントを展開されようとする。

或る日、新人として「モラロジー歩こう会」に入会して親切な仲間にかこまれた。時季はずれの老人の年齢が大変に迷惑をかけてしまった年月。それでも元気に1合目からザックを背負って高山に立ち向かっていった。森の匂いがたちこめ、零れびが草花をさす、谷川のせせらぎの清水が大きく小さく音をたて吹き抜けてゆくさわやかな風が肌をかすめて、樹木にかくされた小鳥があちらこちらとささやく、流れ移る近くの白雲がすぎにし青春の日々に帰らしてくれた。そして近くの峯に、役行者、僧行基が西向きに立っているかに見えた。

夜おそく山小屋のあの何よりもおいしかったカレーライス。今ひととき現役の歩こう会の仲間をうらやましく、1人想起する。

モラロジーのトーキングで座になって語り合っている時、或る女性が云っていた。今迄の人生でいつも心の中に、考えある道標に従って歩いてきた例えの話の聞いて、何回も繰返される講師先生の講話より近親感がわいてくる。

自分も暗やみの中で、立ち止まって戸惑うことが、常とあった。困惑している暗やみに

灯台の閃光が見えて、自然理の位置を教え、導いてくれた。歩きながら考えて道を開き、夜遅く歩いて反省にこだわり、その日を閉じる。

今、百数十人の公認ツアーガイド候補生として、1組8人の仲間達の中にいる。

人はみな似たような想いを抱いて来た。決して賢く歩んできたわけではない。8人の仲間にいるおもいおもいは、明日を待って、流れゆくものの中で一時としてとどまることなく、彼方に見える道標に向かって歩いていく。

トーマス マツムラ

たかとり城まつりに参加する

「車木の代表で城祭りに参加してほしい」と依頼があり、何の予定も無かったこともあり参加しました。

11月23日(月曜・祝日)集合場所に行くと「時代行列部門・姫と家老」に参加することになっている。「お姫様？」ではなく、家老6人の内の1人。衣装の準備はして貰っているがとても自分で着ることも出来ないの、4~5人のご婦人に着せていただくことに。

頭からわらじまで殆どご婦人任せで着せていただく。「家老」は大変でしたが、それ以上に「お姫様」の着付けが大変だったようです。

私達の着付け中、外のメイン会場では「火縄銃の実演」が始まっており、迫力のある音が聞こえていました。

準備の出来た人から吉野ストアまでマイクロバスで移動し、全員が揃う



のを待つ。

時間になり「御城下踊り部門」の人たちが先導車の後を踊りながら児童公園まで出発。

続いて「時代行列部門」では、植村町長の甲冑隊を先頭に私達の「姫と家老」の8人がゆっくり練り歩く。最後は「やっこ踊り」や「珠すだれ」の人たちが踊りながらの行進。

出発点から1.5キロの距離を約1時間かけての行進でした。

途中ではすごい人出でお客さんの中をよけながら練り歩くと云う所もありました。

今回参加できて大変楽しかったです。今後もこのような機会があれば参加したいと思いました。

皆さんも来年はどうぞ「たかとり城まつり」にお越し下さい。

上田 均

運営委員会報告

11月の運営委員会は11月21日、午後8時より事務所で開催されました。出席者は9名。

吉田代表世話人は「昨夜の生涯学習講演会では、いろいろとお疲れ様でした。今夜の運営委員会は連絡不足のため欠席者が多数になりました。また明日、11月22日は、いい夫婦の日です」と挨拶し、議事に入りました。

報告事項

1. 生涯学習講演会を11月20日(金)午後7時から事務所講堂に於いて、参加者54名(申し込み58名)で開催し無事終了しました。講師は今西邦雄氏((財)モラロジー研究所社会教育講師)。今後、開催時間帯を昼か夜か検討する必要がある。
2. 人権学習会を12月4日(金)事務所講堂に於いて行います。講師は栢田義美氏(御所市人権教育講師団講師)。
3. 地方責任者研修会が12月6日(日)大阪講堂で開催されます。参加は、吉田代表世話人と倉本副代表世話人。
4. 次代リーダー研修会が12月13日(日)大阪講堂で開催されます。参加は、富士俊

隆さんと山下幸則さん。

5. 11月6日(金)五條モラロジービジネスクラブ主催の経済講演会に参加して来ました。講師は岩田文明氏で『不況に強い企業になるための経営改善手法』を来年2月から5回します。(杉村ビジネスクラブ長)

審議事項

1. 「新年の集い」を平成22年1月9日(土)午後5時30分から事務所講堂に於いて行う。第1部は、岡川参与と細川参与の講話、第2部の懇親会は女性クラブに依頼。会費は1,000円で多数の参加者を募る。
 - ・当日のスケジュール及び進行、会計は研修委員会が行う。
 - ・「新年の集い」の案内状を作成し、11月の地区委員会で全会員に配布。また年賀状にも案内を掲載する。
2. 年末事務所大掃除を12月20日(日)午前9時から行う。みなさんのご協力をお願いします。

編集後記

今までマイカーにETCを付けず頑張っていました。が、十月高速千円の誘惑に負けてしまいました。京都に走るこが増え奈良から城陽までの京奈和道路、片道七百元が半額の三百五十円です。伏見稻荷、上賀茂神社にドライブするのが楽しいです。ETCは最高です。きん